

電動三二耕うん機

あすな

取扱説明書


VAB235



ご注意

- ◆この取扱説明書をよくお読みになり、記載内容を十分理解してください。
- ◆記載内容を十分理解してから、耕うん機の手扱を開始してください。
- ◆この取扱説明書を読み終えた後も、必要な時にすぐ参照できるように耕うん機の近くに保管してください。

 井関農機株式会社

 GRIP 株式会社 アグリップ

耕うん機重要ポイント

1. 持ち運びをするときは、

主電源スイッチを切ります。

2. ほ場へ出入りするときは、

あぜに直角に走行します。

3. 耕うん機や作業機を点検調整するときは、

必ず主電源スイッチを切ってから行います。


4. 補助者と共同作業を行うときは、

合図をし、周囲の安全を確認します。

5. 作業や移動をするときは、

急発進・急旋回をしません。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

正しく作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要ポイントは上記のとおりですが、これ以外にも、本文の中で作業上ぜひ守っていただきたい事項を  を付して説明のつどりとり上げております。よくお読みいただくとともに、必ず守っていただくようお願いいたします。

重要なお知らせ

- このたびは、アグリップ電動ミニ耕うん機をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
- 本商品は、畑の耕うん・培土などの作業機として使用してください。湿田では使用しないでください。また、改造や使用目的以外の作業はしないでください。改造や使用目的以外の作業をした場合は、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）
- 株式会社アグリップ（以下当社と記す）は、この取扱説明書記載の指示事項を守らなかった場合や、アグリップ電動ミニ耕うん機（以下耕うん機と記す）を改造した場合、あるいは運転・保守作業にあたり、通常必要とされる注意または用心をしなかった場合に生じた損害または傷害に対しては一切責任を負いません。
- この耕うん機の取り扱い上の危険について、すべての状況を予測することはできません。したがって、この取扱説明書の記載事項や耕うん機に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。よって、耕うん機の操作または、日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および耕うん機本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 耕うん機の性能、故障および耐久性は、それ自身の設計の良否、使用材料の適否および製作技術の巧拙によることはいうまでもありませんが、他方、日常の取扱、整備いかなによることも、また看過できません。
- この耕うん機は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での安全規格等の適用・認定等は実施していません。この耕うん機を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故等による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。
- 傷害の発生を避けるため、本来の使用目的以外の耕うん機の使用やこの取扱説明書に述べている以外の運転・保守作業はおやめください。
- 本耕うん機を譲渡又は貸与される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分理解していただき、この取扱説明書を耕うん機に添付してお渡しください。譲渡（または転売）される場合は、必ず譲渡先を当社へご連絡ください。また、添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡（または転売）した側は一切の複製物を保持しないでください。
- この取扱説明書の内容は耕うん機の改良のため、予告なしに変更する場合があります。
- 本耕うん機とこの取扱説明書のイラストとは異なることがあります。またイラストの一部は、耕うん機内部の説明を容易にするために省略していることがあります。あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書は著作権を有します。この取扱説明書の全体もしくは部分的にも、当社の事前の文書による同意なしに複写、コピー、翻訳してはならず、また読み取りのできるいかなる電子装置や機械にも転写しないでください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに「お買いあげ先」にご注文ください。
- さらに詳しい情報を必要としたり、質問があるとき、または内容につき不明な点がありましたら「お買いあげ先」へお問い合わせください。

型式と装備内容について

■銘板の位置

【販売型式名と製造番号】

GRIP
 農業機械の種類 農用トラクター(歩行型)
 型式名 7グリップ K034
 区分 BD
 販売型式名 VAB235-BD
 製造番号 000001

製造元 井関農機株式会社
 販売元 株式会社 アクリフ

【バッテリーロット番号】
 HON90810HL

【充電器製造番号】
 04L2300V030A08D09000001
 製造番号

【充電器型式】

ISEKI 耕うん機専用充電器
 LITHIUM BATTERY CHARGER

型式: HP8204L2
 入力: 100~240VAC
 60/50Hz 1.5/0.9A
 出力: 24VDC 3A

LED
 赤: 電源入
 赤: 充電前
 橙: 充電中
 緑: 満充電

App No. A/11577EA
 GS, CE, RoHS, UL, IEC
 製造元: 井関農機株式会社
 MADE IN CHINA

販売型式名 VAB235-BDの例

■装備内容




区分	装備内容
BD	正転ロータリ、ナタ爪、サイドディスク付

安全にかかわる表示について

本耕うん機を安全にお使いいただくために、この取扱説明書の指示に従って操作・保守を行ってください。







また、耕うん機で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルを貼付しています。取扱説明書および警告ラベルでは、危険の程度を表す方法として次の表示で区分しています。

■表示の説明

 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 注意	その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれがあるものを示します。
注意	その警告に従わなかった場合、装置の破損、故障のおそれがあるものを示します。
補足	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

■図記号の意味

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味で区分しています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (爆発注意)
	禁止行為	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (火気厳禁)
	強制行為	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (メガネ着用)

目次

重要なお知らせ	i
型式と装備内容について	ii
安全にかかわる表示について	iii
目次	iv

1. 使用上のポイント

1.1 使用上のご注意	1
1.1.1 運転者の条件	1
1.1.2 作業をする前に	2
1.1.3 作業中は	3
1.1.4 トラックや自動車への積み・降ろし	5
1.1.5 バッテリーの取扱い	6
1.1.6 バッテリー充電と充電器の取扱い	8
1.1.7 点検・整備	10
1.1.8 保管時は	12
1.2 警告ラベルについて	12
1.3 警告ラベル貼付箇所	13

2. 保証とサービスについて

2.1 商品の保証	14
2.2 サービスネット	14
2.3 銘板の位置	14
2.4 補修用部品の供給年限について	14

3. 各部の名称とはたらき

3.1 各部の名称	15
3.2 各部のはたらき	16
3.2.1 主電源スイッチ	16
3.2.2 キースイッチ	16
3.2.3 安全始動ボタン	16
3.2.4 運転スイッチ	16
3.2.5 抵抗棒	17
3.2.6 尾輪	17

4. 作業前点検

4.1 点検項目	18
4.1.1 運転する前に	18
4.1.2 運転して	18
4.2 バッテリーの充電	19
4.2.1 バッテリーの着脱	19
4.2.2 バッテリーの充電	20

5. 運転・作業のしかた

5.1 運転と停止	22
5.1.1 運転のしかた	22
5.1.2 発進のしかた	23
5.1.3 停止のしかた	24
5.1.4 警告灯の対処方法	25
5.2 作業のしかた	26
5.2.1 ハンドル調節のしかた	26
5.2.2 抵抗棒の調節のしかた	27
5.2.3 尾輪の調節のしかた	27
5.2.4 耕うん幅の調節のしかた	28
5.3 移動のしかた	28
5.3.1 尾輪移動のしかた	28
5.4 持ち運びのしかた	30
5.4.1 クリーントレイの装着	30
5.4.2 ハンドルの折りたたみのしかた	31
5.4.3 持ち運びのしかた	32
5.4.4 ロープのかけかた	32

6. 点検整備

- 6.1 毎日の手入れ33
- 6.2 長時間使用しない場合の手入れ33
- 6.3 定期点検・点検箇所一覧表34
- 6.4 バッテリーの交換35
- 6.5 ミッションオイルの交換35
- 6.6 耕うん爪の点検・交換36

7. 格納時の手入れ

- 7.1 日常の格納37
- 7.2 長期の格納37
- 7.3 長期格納後の使用37

8. 不調時の処置

- 8.1 不調時の処置38

9. 付表

- 9.1 推奨潤滑油一覧表40
- 9.2 標準付属品40
- 9.3 注文部品一覧表40
- 9.4 主要諸元表41
- 9.5 主な消耗部品一覧表42

1. 使用上のポイント

本耕うん機を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

1.1 使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んで理解し、安全に活用してください。記号の説明については「安全にかかわる表示について」の説明を参照してください。

1.1.1 運転者の条件

警告



こんなときは、運転をしないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できないとき
 - 18才未満の人
 - 妊娠しているとき
 - 酒を飲んだとき
 - 本書及びラベルの内容が理解できない人
 - 視力不足等で表示内容が読めない人
- ※ 誤操作しやすく傷害事故の原因になります。



作業に適した服装を着用してください。

はち巻き・首巻き・腰タオル・サンダルは厳禁です。

作業帽・滑り止めのついた靴を着用し、保護メガネ等の作業に適した防護具などをつけてだぶつきのない服装をしてください。

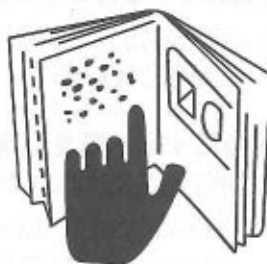
※ 機械に巻き込まれたり、滑って転倒し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



機械を貸すときは正しい使い方を指導してください。

取り扱いの方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

※ 借りた人が、機械の運転に不慣れなため、傷害事故を引き起こすことがあります。



1. 使用上のポイント

1.1.2 作業をする前に

⚠ 危険



バッテリー着脱は、主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。

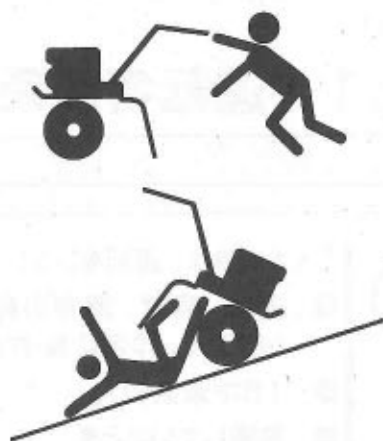
※ 守らないと、傷害事故を引き起こすことがあります。



作業をする前に、この取扱説明書を参考にして必要な点検は必ず行ってください。

特に運転スイッチ関係は、忘れないでください。点検を怠ると、性能が出せないばかりか、故障したり、電源が切れなくなることがあります。

※ 守らないと、死亡事故や傷害事故、機械の破損の原因になります。



⚠ 警告



主電源スイッチを「入」にする前に、安全カバー類が外されたままになっていないか確認してください。

※ 守らないと、機械に巻き込まれたりして重大な傷害事故を起こします。



無理のないゆとりある作業計画をたててください。

※ 守らないと、あせりなどから傷害事故を引き起こすことがあります。



キースイッチを「運転(ON)」にするときは、必ず運転スイッチから手を放し、周囲の安全を確認してから行ってください。

※ 守らないと、傷害事故を引き起こす原因になります。



車軸にタイヤ類を装着して自走させることは、絶対にしないでください。

※ 守らないと、機械が破損したり傷害事故を引き起こす恐れがあります。



⚠ 注意



水の当たる場所や高温多湿の場所、大きな石の多い場所、材木・切株等のある開墾地では使用しないでください。

※ 守らないと、傷害事故や機械の故障の原因となります。



発進するときは、周囲の安全を確認して、注意して発進してください。

特に子供に注意してください。

※ 守らないと、重大な傷害事故を引き起こすおそれがあります。



注意



無線機等の電気製品や、高圧線や変電所等の電波を発するものの近くで作業しないでください。

※ 守らないと、機械が突然停止するおそれがあり、また、他の機器に影響を与えることもあります。



キャッシュカードやテレホンカード等の磁気を利用したカード類や、時計等の磁気製品を充電器や本機に近づけないで下さい。

※ 守らないと、カード類や磁気製品が使えなくなることがあります。

1.1.3 作業中は

気象条件などに注意して、作業実施の判断、作業方法や装備の選択に十分配慮してください。

⚠ 警告



耕うん部などの回転部や、モータ・ミッションケース等の過熱部など、危険な箇所には、体や服を触れないでください。

※ 守らないと、重大な傷害事故を引き起こす原因になります。



1. 使用上のポイント

警告



● 旋回する時は足もとに特に注意して、耕うん部に巻き込まれないようにしてください。

● 石がかみこんだり草が巻きついて耕うん爪が停止したときは、主電源スイッチを「切」にしてから異物を取り除いてください。

※ 守らないと、重大な傷害事故を引き起こす原因になります。



● 傾斜地で作業する場合、転倒やスリップをしないようバランスに十分注意してください。



● 本耕うん機は、前照灯を備えていませんので、夜間作業は絶対に行わないでください。

● 運転中にバッテリーケーブルを引っ張らないでください。

※ 守らないと、重大な傷害事故を引き起こす原因になります。



● あぜを横断するときは、いったん停止して、あぜと直角に走行してください。

● あぜの高さが爪軸の高さを越える場合の出入りでは特に、作業者ご自身が滑ったりしないよう、足場を十分確認しながら移動してください。

※ 守らないと、衝撃で機械を破損させたり、スリップや転倒し傷害事故を起こすことがあります。



注意

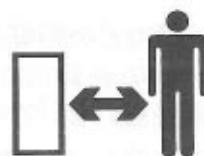


● 作業中は周りの人(特に子供)に注意してください。

作業を開始するときは、周囲の安全を確認し、特に補助者とともに作業するときは、声をかけて合図してから行ってください。

作業中は、作業者以外の人を機械に近づけないでください。

※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意



機械から離れるときは、「平らな場所」を選び、主電源スイッチを「切」にし、キースイッチを「停止(OFF)」にしておいてください。

やむをえず坂道で機械を停止させる場合は、機体前方を坂道の下方向へ向けて停止させないでください。

※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



作業中に運転スイッチを放してしまったら、放してから3秒以上経過してから握り直してください。3秒未満だと、保護回路が作動するため始動しません。

※ 何度も「入」「切」を繰り返すと、故障の原因となります。



耕うん爪に石等がかみこんだ場合は、主電源スイッチを「切」にし、爪を外して取り除いてください。

※ 爪軸側から無理に回すと故障します。

1.1.4 トラックや自動車への積み・降ろし

⚠ 警告



機械を運搬するときは、主電源スイッチを「切」、キースイッチを「停止」にして抜いてください。また、荷台から本機・作業機がはみ出さないようにしてください。

※ 守らないと、転落事故を引き起こすおそれがあります。



積み込むトラックや自動車は、エンジンを止め、変速を「P」、「R」または「1速」にし、駐車ブレーキをかけてから行ってください。

※ 守らないと、積み・降ろし時、トラック等が動いて転落事故を引き起こすおそれがあります。



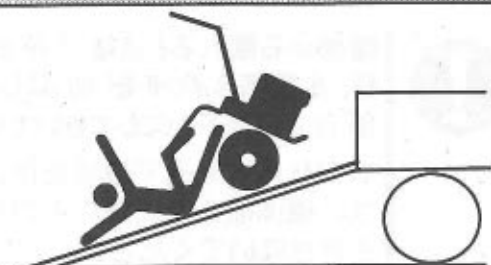
1. 使用上のポイント

⚠ 警告



トラックに積み・降ろしをするときに、アユミ板は使用しないでください。

※ 守らないと、耕うん部がアユミ板に喰い込んで転落事故を引き起こすおそれがあります。



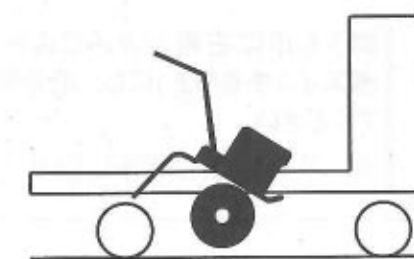
トラックや自動車へ持ち上げるときは、ハンドルの固定ノブが確実に締まっていることを確認し、折りたたんでいる場合はキャリーハンドルを持って運んでください。絶対にバッテリーの取っ手を持って運ばないでください。

※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



トラックや自動車で運搬するときは、耕うん部が動かないように車止めの効果のあるもので動きを抑え、さらに機械本体が転倒しないように、ハンドルもしくは抵抗棒をロープ等で必ず荷台に固定してください。また、運搬中は急発進・急旋回・急ハンドルをしないでください。

※ 守らないと、衝撃で機械を破損させたり、転落事故を起こすことがあります。



1.1.5 バッテリーの取扱い

バッテリーパックに記載されている表示により、バッテリーの種類をご確認ください。

表示	バッテリーの種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠ 危険



バッテリーを火中に投げ入れたり、加熱したり、高温で使用したりしないでください。

※ バッテリーが発火・破裂し、傷害事故や火事のおそれがあります。



⚠ 危険



バッテリーを火やストーブのそば・炎天下の車中など、高温になる場所に置かないでください。また、直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。

※ 守らないと、発火・破裂し、傷害事故や火事のおそれがあります。



バッテリーは指定した型式や専用充電器以外には使用しないでください。

※ 守らないと、発火・破裂し、傷害事故や火事のおそれがあります。



バッテリーを分解・修理したり改造したりしないでください。

※ 守らないと、発火・破裂し、傷害事故や火事のおそれがあります。



端子部を金属等で直接接触・接続しないでください。

※ 守らないと、感電や故障のおそれがあります。



⚠ 警告



バッテリーに水をかけたり、水中に投下しないでください。また、濡れたままで接続しないでください。

※ 感電・故障のおそれがあります。



バッテリーを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。また、落としてケースが破損した場合は、使用しないで販売店にご相談ください。

※ 守らないと、発火・破裂し、傷害事故や火事のおそれがあります。



バッテリーの取り付け・取り外しのときは主電源スイッチを「切」にしてください。

※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



1. 使用上のポイント

⚠ 注意



機械を保管するときはバッテリーを外して保管してください。

※ 守らないと、故障したり、バッテリーの寿命が短くなったりします。



バッテリーは幼児やペットが近づく場所に保管しないでください。

※ 守らないと、思わぬ事故の原因となります。



バッテリーは雨や直射日光の当たらない屋内の、換気の良い場所に保管してください。

※ 守らないと、故障したり、バッテリーの寿命が短くなったりします。



異臭や変形など今までと異なることに気がついたときはそのまま使用しないで、販売店にご相談ください。

※ そのまま使用すると、発火・破裂のおそれがあります。



不要になったバッテリーは、一般のゴミと一緒に捨てず、販売店にご相談ください。

※ バッテリーのリサイクルにご協力ください。



Li-ion

1.1.6 バッテリー充電と充電器の取扱い

⚠ 危険



充電器は室温0～40℃の屋内で使用し、火気・燃えやすいものの近くや、直射日光が当たるところでは使用しないでください。

※ 守らないと、発火・火事のおそれがあります。



充電中は充電器とバッテリーを布等で覆ったりカバーをしたりせず、ゴミやホコリのない換気の良いところで使用してください。

※ 守らないと、発火・火事のおそれがあります。




警告


充電器は水に濡らさないでください。また濡れた手や濡れた電源コードで充電しないでください。

※ 守らないと、感電する恐れがあります。



充電は専用の充電器を使用し、使用後は電源プラグを必ず抜き、きちんと保管してください。

※ 守らないと、発火・火事のおそれがあります。



充電器は家庭用電源AC100Vにて使用してください。

※ 守らないと、発火・火事のおそれがあります。



充電中、熱くなる箇所に長時間手を触れないでください。

※ 守らないと、低温やけどを引き起こすおそれがあります。



充電器を分解・修理したり改造したりしないでください。

※ 守らないと、傷害事故の原因となります。



充電器の電源コードの取り扱いは、以下のことを守ってください。

- 束ねたり、丸めたりしたまま充電しない
- 傷つけたり、加工・改造などしない
- 無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどしない
- コードの上に重い物をのせたり、くぎなどで固定しない
- 損傷している状態では使用しない
- コンセントから抜き差しするときは、電源を切りプラグを持って抜く
- タコ足配線をしない

※ 守らないと、火事・感電のおそれがあります。



1. 使用上のポイント

⚠ 注意



充電をしながら運転をしないで下さい。
※ 守らないと、バッテリーの寿命が短くなるおそれがあります。

1.1.7 点検・整備

⚠ 危険



点検・整備は必ずキースイッチを「停止 (OFF)」にし、主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。
※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



点検・整備は必ずモータを止め、モータ・ミツシオンケース等の過熱部分が完全に冷えてから行ってください。
※ 守らないと、ヤケドや傷害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 警告



耕うん機のご使用の前後に、日常の点検・整備を行うほか、定期的に点検整備を行って常に耕うん機および作業機を安全な状態に保つようにしてください。
※ 守らないと、故障や事故の原因になります。



指定以外のアタッチメントの取り付けや、改造は絶対にしないでください。
※ 守らないと、故障や事故の原因になります。



警告



点検・整備は皮手袋などの丈夫な手袋を着用し、適正な工具を正しく使用して行ってください。

※ 守らないと、整備中の傷害事故や、整備不良による思わぬ事故を引き起こすことがあります。



点検・整備するときは、地面が平坦で硬く、明るく広い場所で行ってください。

※ 守らないと、故障・傷害事故のおそれがあります。



点検・整備するときは、常に機体のバランスに気をつけてください。特に前方向には転倒しやすいので、前方へ力をかけるときは、転倒しないように十分注意をして下さい。

※ 守らないと、機械を破損させたり、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



作業機の装着が終わったときは、指定の場所に確実に装着されているか、ピンに抜け止めピンがしてあるかどうか確認してください。

※ 守らないと、作業機が外れたりして重大な傷害事故の原因となります。



点検・整備で取り外した安全カバー類は、必ず元のおりに取り付けてください。

※ 守らないと、機械に巻き込まれたりして、傷害事故を起こします。



洗車するときは、電気部品(バッテリー・キースイッチ・運転スイッチ・主電源スイッチ・モニター・バッテリーケーブル・モータ)、警告ラベル貼付箇所には、水をかけないでください。

※ 守らないと、故障の原因となったり、警告ラベルのはがれを起こしたりします。



洗車時や機械を使用しないときは、必ずバッテリーを外し、キャップをして下さい。

※ 守らないと、故障・傷害事故のおそれがあります。

1. 使用上のポイント

1.1.8 保管時は

警告



保管時はキースイッチのキーを抜いてください。

※ 守らないと、いたずらなどで重大な事故になることがあります。



長期格納する場合は、バッテリーを取り外して保管してください。

※ 守らないと、火災の原因になることがあります。



シートなどを機械にかけるときは、過熱部分が完全に冷えてから行ってください。また、モータ周辺部のワラくず、ゴミ等は、取り除いてください。

※ 守らないと、火災の原因になることがあります。

1.2 警告ラベルについて

- (1) この耕うん機には、安全に作業していただくため、警告ラベルが貼付してあります。必ずよく読んで、これらの注意に従ってください。
- (2) 警告ラベルが破損したり、なくなったり読めなくなった場合は、新しいラベルを注文し貼り替えてください。
- (3) 汚れた場合は、きれいに拭き取り、いつでも読めるようにしてください。
- (4) 警告ラベルが貼付してある部品を交換する場合は、同時に警告ラベルもお買いあげ先へ注文してください。

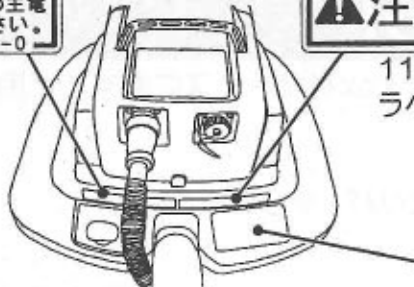
1.3 警告ラベル貼付箇所


▲警告 バッテリーの取り付け・取り外しおよび機械の点検のときは、安全のため主電源スイッチを「切」にしてください。
1146-902-005-0

1146-902-005-0
ラベル (ケイコク/スイッチ)

▲注意 耕うん爪に石等が噛みこんだ場合は爪を外して取り除いてください。爪軸側から無理に回すと故障します。
1146-902-007-0

1146-902-007-0
ラベル (チユウイ/ロツク/ロータ)



▲警告  ロータリが回転している時はロータリに巻き込まれる恐れがあります。足を近づけないでください。
1116-902-005-0

1116-902-005-0
ラベル (ケイコク/ロータリ)

充電式リチウムイオンバッテリーパック (電動管理機用)
定格 24V 10Ah

▲危険 ●次のことは絶対しないでください。
(発熱、発火、破裂の可能性があります。)

- 火中投入、加熱、高温での使用、充電、放置
- 変形やショートおよび分解改造
- 指定の機械以外での使用
- 専用充電器以外での使用



Li-ion

使用後は、販売店へ連絡してください。

販売元 井関農機株式会社

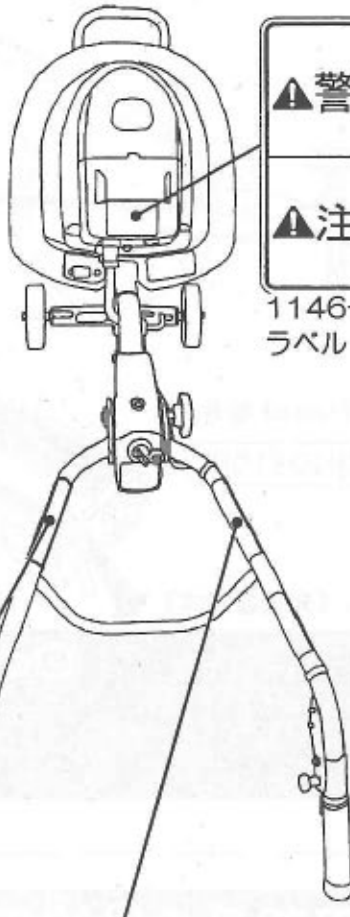
1146-902-011-0
ラベル (シヨウ/バッテリー)



▲警告 洗車および機械を使用しない場合は、必ずバッテリーを外しキャップをする。故障、けがの恐れがあります。

▲注意 機械を持ち上げるときは、バッテリーの取っ手を持たない。けが、故障の恐れがあります。
1146-902-006-0

1146-902-006-0
ラベル (ケイコク/バッテリー)




▲警告 ●水や高水につけないでください。また、高圧水をかけないでください。
●端子に水滴がついたままや、ぬれた手でハーネスを接触しないでください。
●火やストーブのそば・炎天下の車のトランク内など、高温になる場所に置かないでください。直射日光のある場所に長時間置かないでください。
●落としたりケースが破損した場合は、使用しないで販売店にご相談ください。

▲注意 ●長時間使用しない場合は、満充電にした後、機体からはずし、端子のキャップを締めて、高温で湿度の低い所に保管してください。
●保管中は少なくとも1年に1回は、専用の充電器で満充電にしてください。
●不要になったバッテリーを、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
●詳しくは取扱説明書をよくお読みください。
1146-902-002-0

1146-902-002-0
ラベル (ケイコク/バッテリー)

▲警告 雨の時や水のかかる場所での使用や保管はしないでください。また洗車をする時は、電気部品には水をかけないでください。守らないと、傷害事故や機械の故障のおそれがあります。
1146-902-014-0

1146-902-014-0
ラベル (ケイコク/ミスカケ)

▲注意  死傷事故を防止するため、運転操作をする前には必ず取扱説明書をよくお読みください。
1 前後左右と足元をよく確認し、足をとられないよう、安全に十分注意してください。
2 機械からはなれるときは必ずキーを抜き、点検のときはバッテリーをはずしてください。
1146-902-001-0

1146-902-001-0
ラベル (チユウイ/ソウサ)

2. 保証とサービスについて

2.1 商品の保証

この商品には、『アグリップ保証書』が添付されています。詳しくは保証書をご覧ください。

2.2 サービスネット

ご使用中の故障やご不審な点、およびサービスに関するご用命は、お買いあげ先へお気軽にご相談ください。その際

- (1) 販売型式名と製造番号
 - (2) 充電器型式と製造番号およびバッテリーロット番号
- をご連絡ください。

2.3 銘板の位置

【販売型式名と製造番号】

GRIP	
農業機械の種類	農用トラクター(歩行型)
型式名	アグリップ K034
区分	BD
販売型式名	VAB235-BD
製造番号	000001

製造元 林間農機株式会社
販売元 株式会社アグリップ

【バッテリーロット番号】
H0N90810HL

【充電器製造番号】
04L2300V030A08D09000001
製造番号

【充電器型式】

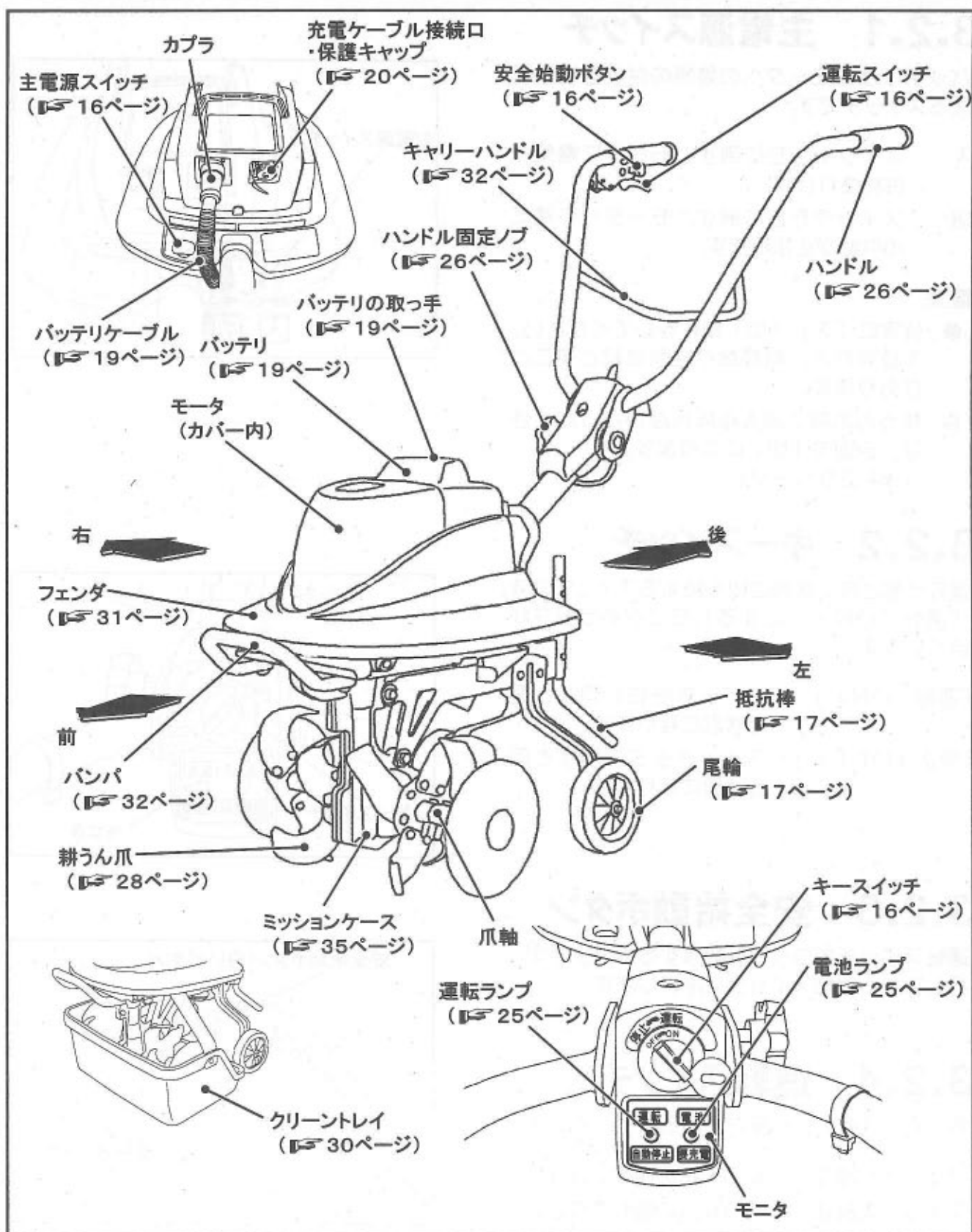
ISEKI 耕うん機専用充電器 LITHIUM BATTERY CHARGER	型式: HP8204L2 入力: 100~240VAC 60/50Hz 1.5/0.9A 出力: 24VDC 3A	App NO A/11577EA	UL LISTED E23123 BATTERY CHARGER CLASS 2
LED 赤: 電源入 赤: 充電前 橙: 充電中 緑: 満充電		製造元: 林間農機株式会社 MADE IN CHINA	

2.4 補修用部品の供給年限について

- この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には納期および価格についてご相談させていただきます。

3. 各部の名称とはたらき

3.1 各部の名称



3. 各部の名称とはたらき

3.2 各部のはたらき

3.2.1 主電源スイッチ

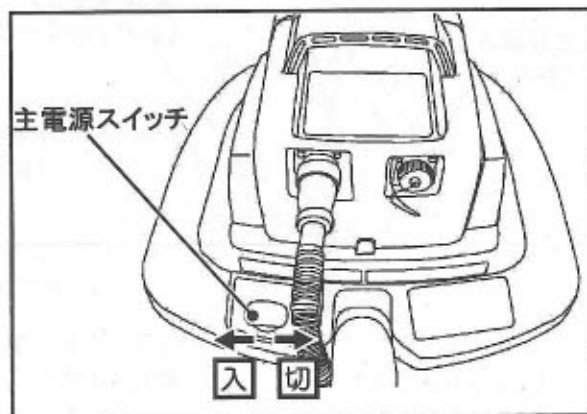
バッテリーからモータへの電源の供給を切り替えるスイッチです。

入……スイッチを左に倒すとモータに電気が供給されます。

切……スイッチを右に倒すとモータへの電気の供給が止まります。

補足

- 確実に「入」「切」操作をしてください。不確かだと、自動戻りを引き起こすことがあります。
- 耕うん爪部に過大な抵抗がかかったときは、自動で「切」になります。
(P.25ページ)

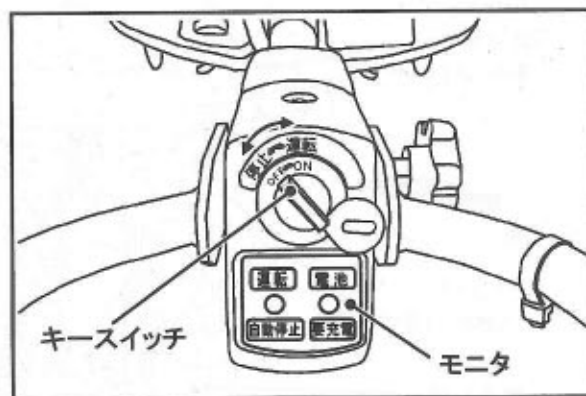


3.2.2 キースイッチ

運転状態と停止状態に切り替えるスイッチです。「運転 (ON)」にするとモニタのランプが点灯します。

「運転 (ON)」……スイッチを右に回すと運転状態になります。

「停止 (OFF)」……スイッチを左に回すと停止状態になります。



3.2.3 安全始動ボタン

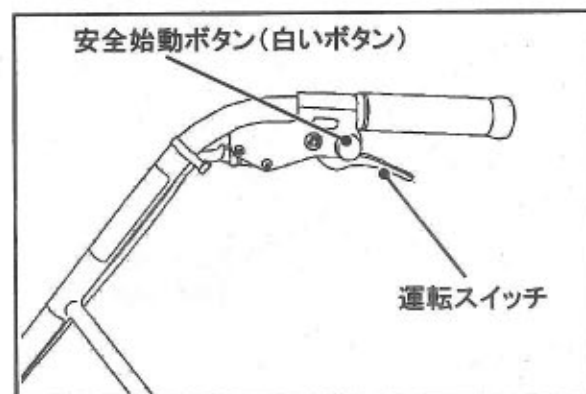
運転スイッチのロックを解除するボタンです。押しながら運転スイッチを操作します。

3.2.4 運転スイッチ

耕うん爪を回し、作業を始めるスイッチです。

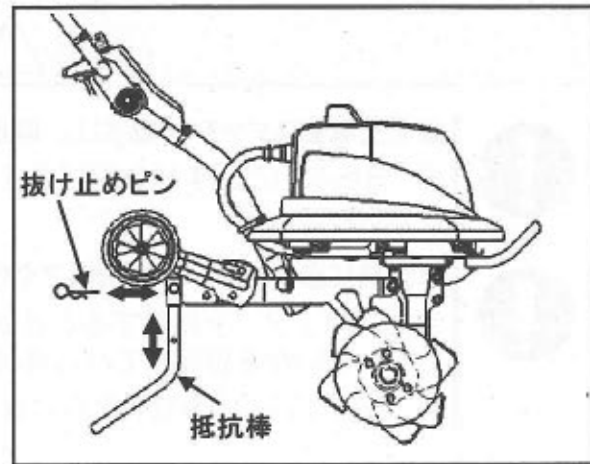
スイッチを握る……耕うん爪が回転します。

スイッチを放す……耕うん爪の回転が停止します。



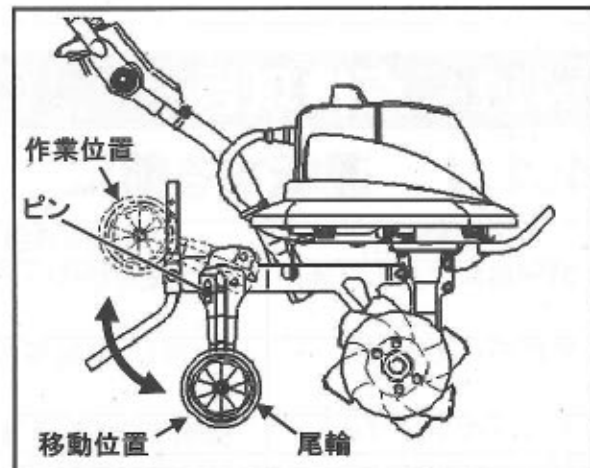
3.2.5 抵抗棒

耕うん深さを調節したり、機体が前方へ走るのを防止する役目をします。耕うん深さは抵抗棒を上下に移動することによって調節します。(P.27ページ)



3.2.6 尾輪

移動をするときに使用します。移動位置と作業位置とがあり、ロックピンを引いて位置を変えることができます。(P.27ページ)



4. 作業前点検

故障を未然に防ぐには、機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
作業前点検は毎日欠かさず行ってください。

⚠ 危険



必ず主電源スイッチを「切」にし、停止してから行ってください。

※ 守らないと、手や衣服が巻き込まれたり、はさまれたりするおそれがあります。



作業前に必ずバッテリーを充電してください。

また、バッテリーを接続するときは、接続口が濡れていないか、バッテリーケースが破損していないかを確認してから接続してください。

※ 守らないと、感電したり、発火・破裂の恐れがあります。



運転スイッチの作動確認をする際は、周囲を確認して行ってください。

※ 守らないと、重大な傷害事故を引き起こす恐れがあります。

4.1 点検項目

4.1.1 運転する前に

点検箇所	点検項目	処 置	参照ページ
前日異常のあった箇所	・再度異常がないか点検します。	・異常の場合は「お買いあげ先」に相談してください。	—
警告ラベルの点検	・はがれ、破損等ありませんか。	・ある場合は新しいものに貼り替えてください。	13
バッテリーケーブル	・接続されていますか。	・正しく接続してください。	19
バッテリー	・バッテリーは充電しましたか。	・充電してから作業を行ってください。	20

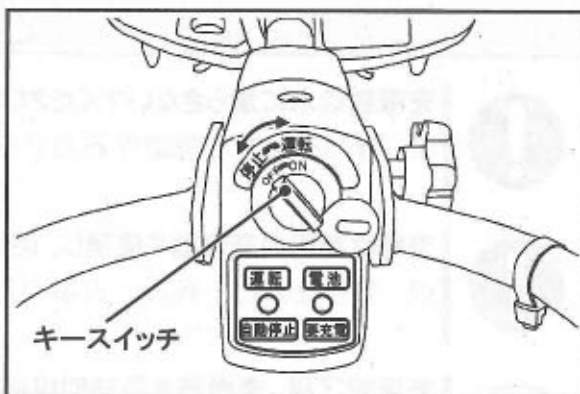
4.1.2 運転して

点検箇所	点検項目	処 置	参照ページ
運転ランプ	・主電源スイッチを「入」に、キースイッチを「運転(ON)」にして、運転スイッチを握ったとき緑色が点灯して運転できますか。	(赤色が点灯する場合) ・耕うん爪の異物を取り除いてください。 ・モータの温度が冷めるのを待って運転してください。	22・25
電池ランプ	・主電源スイッチを「入」に、キースイッチを「運転(ON)」にしたとき、緑色が点灯していますか。	(赤色が点灯する場合) ・バッテリー残量が少なくなっています。充電してください。	22・25
運転スイッチ	・レバーを離したとき、耕うん爪の回転が停止しますか。	・停止しない場合は「お買いあげ先」に相談してください。	23

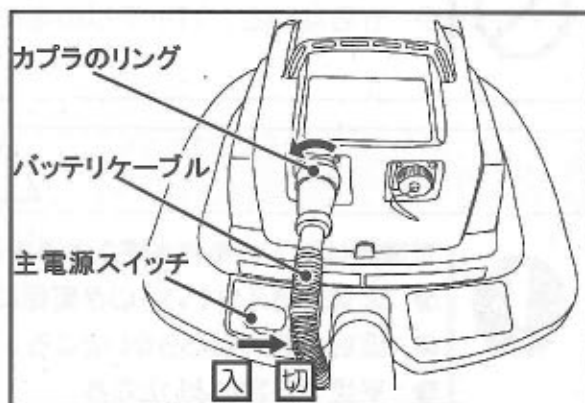
4.2 バッテリーの充電

4.2.1 バッテリーの着脱

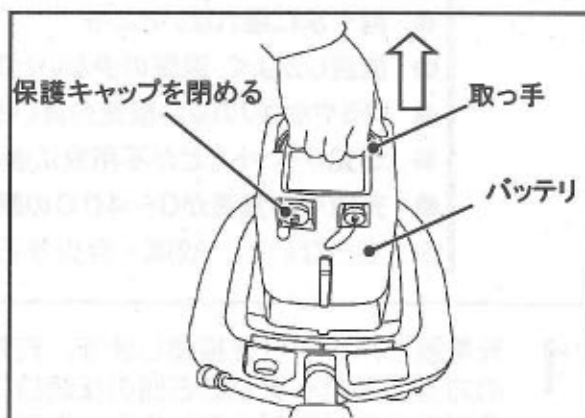
- 1** キースイッチを「停止 (OFF)」にします。



- 2** 主電源スイッチを「切」にします。カブラのリングを回し、バッテリーケーブルを外します。



- 3** ケーブルを外した後は必ず保護キャップを閉めてください。取っ手を持ってバッテリーを引き抜きます。

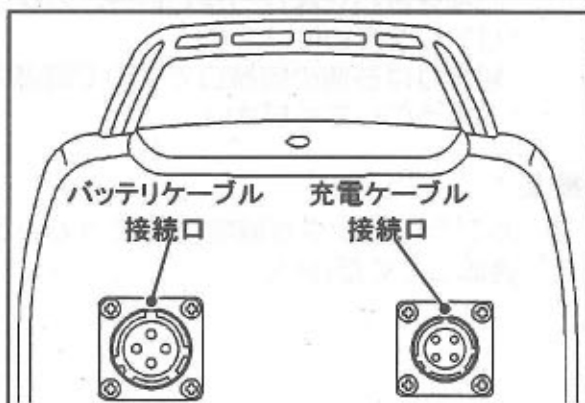


- 4** バッテリーを充電します。(P.20ページ)

- 5** バッテリーを本機に組付ける時は、外した時と逆の手順で、充電されたバッテリーを乗せ、バッテリーケーブルをカブラの凸部に合わせて差し込み、カブラのリングを締めます。組付けは左側の接続口ですので間違えないようにしてください。

補足

- カブラのリングが確実に締まっているか確認してください。



4. 作業前点検

4.2.2 バッテリーの充電

※はじめてお使いになるときや、新しいバッテリーに交換したときは、必ず満充電してください。

警告



充電器は水に濡らさないでください。また濡れたままで電源コードを差さないでください。

※ 守らないと、感電するおそれがあります。



充電は専用の充電器を使用し、使用後は電源コードを必ず抜き、保管してください。

※ 守らないと、発火・火事のおそれがあります。



充電完了後、充電器を長時間接続したままにしないでください。

※ 守らないと、バッテリーの寿命が短くなるおそれがあります。

注意



充電時は以下の条件を満たす場所にて行ってください。

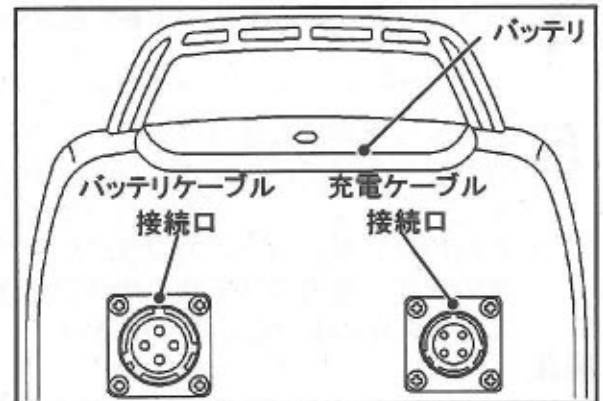
- 火気や燃えやすいものが周囲にないところ
- 直射日光の当たらないところ
- 平坦で安定のよいところ
- 雨や水に濡れないところ
- 風通しがよく、湿気の少ないところ
- ゴミやホコリのない換気の良いところ
- 幼児やペットなどが不用意に触れないところ
- 充電中の室温が0~40℃の範囲内の場所

※ 守らないと、故障・発火するおそれがあります。

- 1 充電器とバッテリーを接続します。充電器のカプラをバッテリーの右側の接続口に、凸部を合わせながら差し込み、カプラのリングを締め付けます。組付けは右側の接続口ですので間違えないようにしてください。

補足

- カプラのリングが確実に締まっているか確認してください。



- 2** 充電器の電源スイッチが「○(切)」になっていることを確認し、電源コードを家庭用電源AC100Vに接続します。充電器の電源スイッチを「- (入)」にし、充電器の電源ランプが赤色に、充電ランプが橙色に点灯すれば充電開始です。充電器のランプは左が電源ランプで、右が充電ランプです。

補足

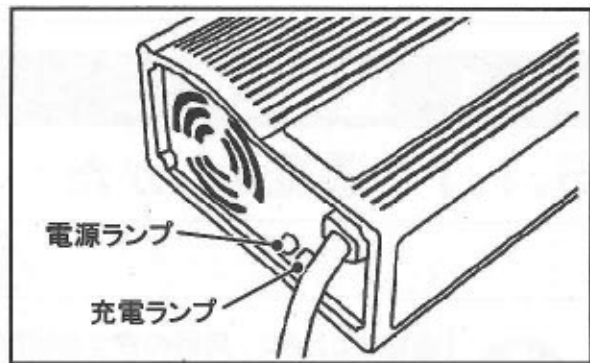
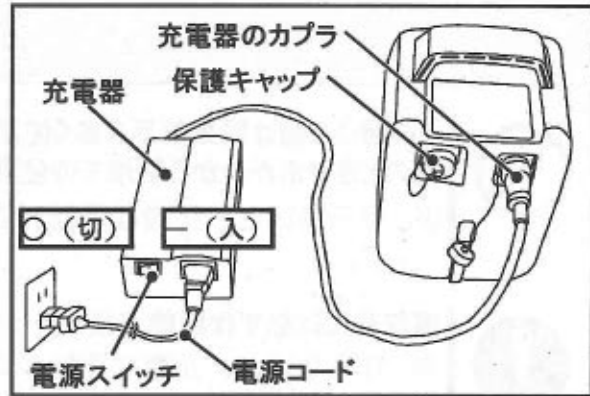
- 充電器の電源スイッチを「- (入)」にしても充電ランプが橙色に点灯せず、赤色のままになる場合があります。その場合は不調時の処置の項をお読みください。(P. 39ページ)

- 3** 充電ランプの点灯が橙色から緑色になったらバッテリーは満充電です。

補足

- 充電時間はバッテリー残量がない状態から開始して約3時間半です。
(充電時間は総使用時間・バッテリー残量・外気温などにより異なります。上記充電時間は目安ですので充電状態などによりさらに充電時間が延びる場合があります。)

- 4** バッテリーの充電が終了しましたら、充電器の電源スイッチを「○(切)」にし、電源コードをコンセントから外します。バッテリーのカプラ接続口には、雨水防止のため、必ず保護キャップをしてください。



5. 運転・作業のしかた

⚠ 注意



この耕うん機は電気部品を多く使用しています。
雨のときや水がかかる場所での使用はしないでください。

※ 守らないと、正常な運転ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



運転前には必ず作業前点検を行ってください。

※ 守らないと、正常な運転ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

5.1 運転と停止

5.1.1 運転のしかた

⚠ 警告



運転するときは、周囲の安全を確認してから行ってください。

※ 守らないと、急発進することがあり、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

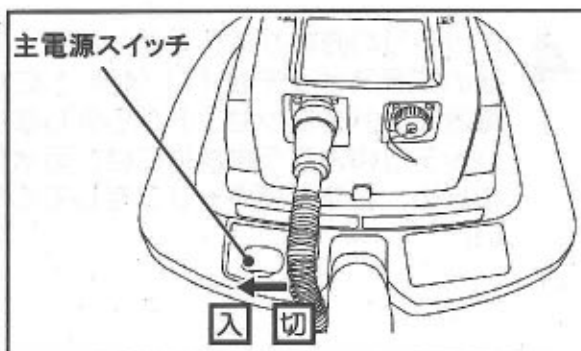


運転するときは、耕うん爪の近くに立たないでください。

※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■運転要領

1 主電源スイッチを「入」にします。



2 キースイッチを「運転 (ON)」にします。



3 モニタの運転・電池の2つのランプが緑色に点灯すると運転することができます。

5.1.2 発進のしかた

警告



土の硬いところでは、耕うん爪が土に入りきらず機械が前方に飛び出す(ダッシング)場合があります。ハンドルをしっかりと持ち、ハンドルを押し下げて抵抗をかけゆっくりと耕うんしてください。

※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

注意



発進させるときは、ハンドルをしっかりと握り、周囲の安全を確認し、人(子供)を近づけないでください。

※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



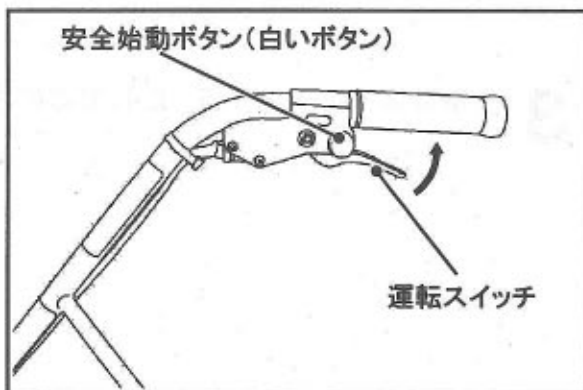
一度レバーを放したら、3秒以上経過してからレバーを握ってください。

※ 3秒未満だと、保護回路が作動するためモータが回転しません。

- 1 運転スイッチを握ると耕うん爪が回ります。放すと耕うん爪は止まります。運転スイッチを握るときは、安全始動ボタンを押してください。爪が回れば安全始動ボタンは放してください。

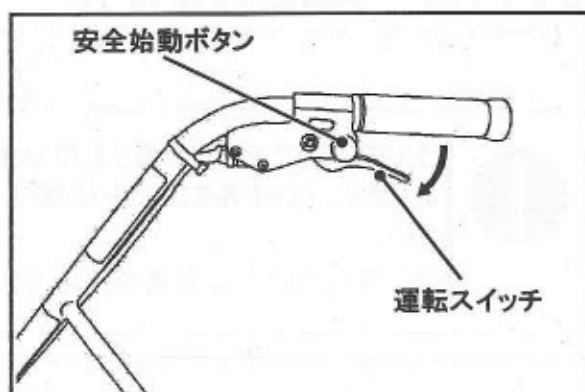
補足

- ハンドルを押し下げ、抵抗棒を土中に突っ込み抵抗をかけながら耕うんします。
- 土の硬さによりハンドルを上下させ、抵抗棒の深さを調節しながらします。
- ハンドルを押し下げ抵抗棒を深くすると深く耕うんできます。
- またハンドルを持ち上げ抵抗を抜くと浅く早く前に進みます。



5.1.3 停止のしかた

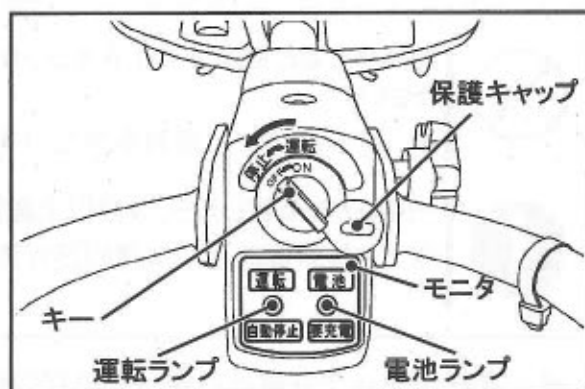
1 運転スイッチから手を放してください。



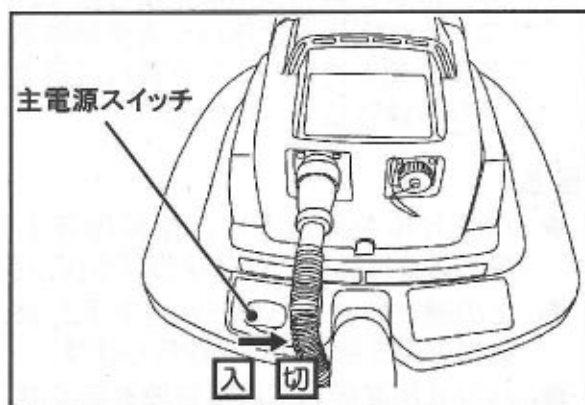
2 キースイッチを「停止 (OFF)」にしてください。モニタの2つのランプが消えるのを確認してください。

補足

- 機械から離れるときは、キーを抜いて雨水浸入防止の保護キャップをしてください。



3 主電源スイッチを「切」にしてください。



5.1.4 警告灯の対処方法

■運転ランプが赤色に点灯したとき

運転ランプが赤色に点灯すると自動停止します。

- 耕うん爪部に過大な抵抗がかかっています
耕うんが深すぎたときや、耕うん爪に石、草等が巻き込まれている
- 連続運転によりモータの温度が高くなっています

1 キースイッチを「停止 (OFF)」にしてから・主電源スイッチを「切」にしてください。

2 ハンドルを持ち耕うん爪を地面から浮かせ、異物がかみこんでいないか確認してください。

- 耕うん爪に異物がかみ込んでいる場合は取り除いてください。
- 取り除く場合は、耕うん爪を無理に回さないでください。ハンマー等で無理に爪をたたくと、故障するおそれがあります。
- 石がかみこんだ場合は、耕うん爪を外して取り除いてください。
(ボルトを外すと簡単にできます)

3 主電源スイッチを「入」・キースイッチを「運転 (ON)」にし、ランプの色が緑色に点灯したことを確認してください。かわらない場合は、しばらく時間をおいてから (15~20分)、再度確認してください。

■電池ランプが赤色に点灯したとき

電池ランプが赤色に点灯するときは、つぎのような場合です。

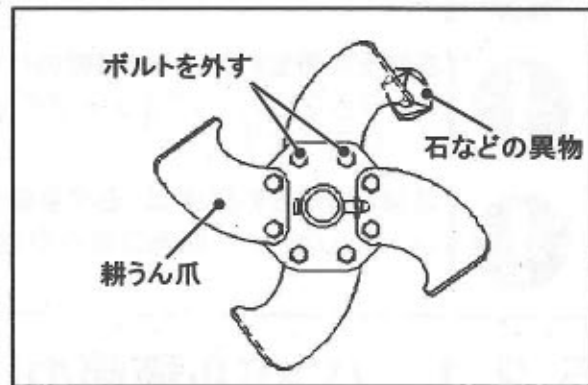
- 電池の残量が少なくなっています
赤色に点灯後、しばらくすると耕うん爪が停止します

補足

- 電池の残量が少ない時には、ランプ表示が青色で止まる場合があります。その時は充電してご使用ください。バッテリーの異常ではありません。

1 キースイッチを「停止 (OFF)」後、主電源スイッチを「切」にしてください。

2 バッテリーを取り外し、充電してください。
(P.20ページ)



補足

- 耕うん爪部に過大な抵抗がある場合は、同時に両方のランプが赤色に点灯することがありますが異常ではありません。

5. 運転・作業のしかた

警告



各部を調節をするときは、主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。
耕うん爪の異物（石、草等）を取り除くときは、必ず手袋を使用してください。
※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

5.2 作業のしかた

警告



各部を調節をするときは、主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。
※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



各部を調節をするときは、機械のバランスに注意しながら行ってください。
※ 守らないと、バランスが不安定になり、転倒による傷害事故を引き起こすおそれがあります。

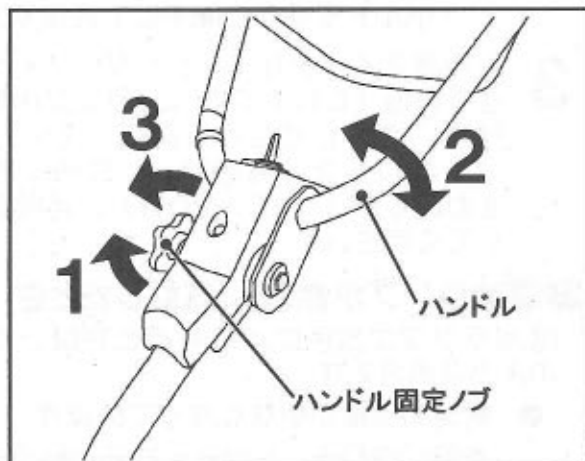


各部を調節をするときは、必ず手袋を使用してください。
※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

5.2.1 ハンドル調節のしかた

作業者の体格や作業状態にあわせてハンドル高さを調節することができます。

- 1 片手でハンドルを持ち、ハンドル固定ノブをハンドルが動かせる程度までゆるめます。
- 2 ハンドルを好みの高さに合わせます。
- 3 ハンドル固定ノブを回して、ハンドルを締め付けます。
支点かみ合い部の凹凸を合わせハンドル固定ノブをしっかりと締め付けます。



補足

- ハンドル調節は、平たんな場所で行ってください。
- ハンドル固定ノブをゆるめたときに、機体バランスをくずさないよう、抵抗棒を地面につけ安定した状態で調節を行ってください。
- ハンドル固定ノブをゆるめると、ハンドルは落ちてきます。必ずハンドルを持って調節してください。

5.2.2 抵抗棒の調節のしかた

耕うん深さは、抵抗棒を上下させることで調節できます。

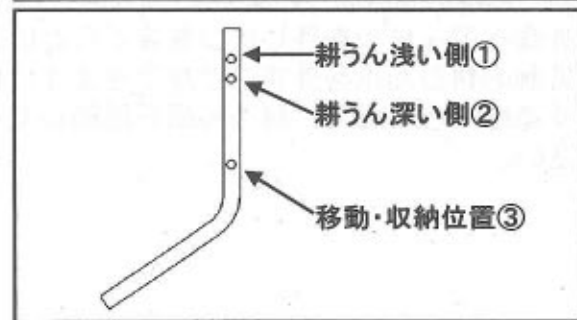
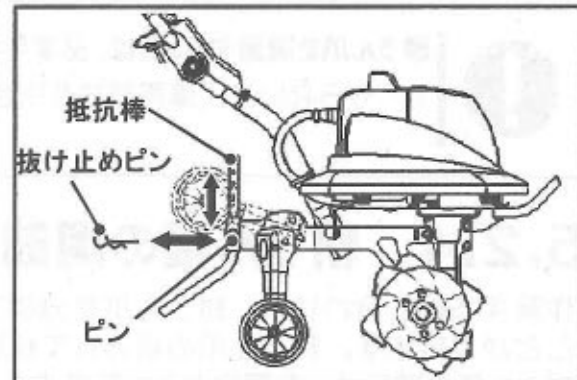
- 1 抵抗棒を止めているピンに付いている抜け止めピンを引き抜き、ピンを抜きます。
- 2 ピンを差す穴位置を変更することで耕うん深さを調節できます。
抜け止めピンが確実にピンに挿入されていることを確認してください。

調節要領

耕うん浅い側① …… 耕うん深さが浅くなる。
耕うん深い側② …… 耕うん深さが深くなる。

補足

- 硬いほ場で機体が前に進みすぎるときは、抵抗棒を耕うん深い側②にします。
柔らかいほ場で耕うん爪が沈んでしまうときは、抵抗棒を耕うん浅い側①にします。
- 移動するときは、移動・収納位置③にセットしてください。

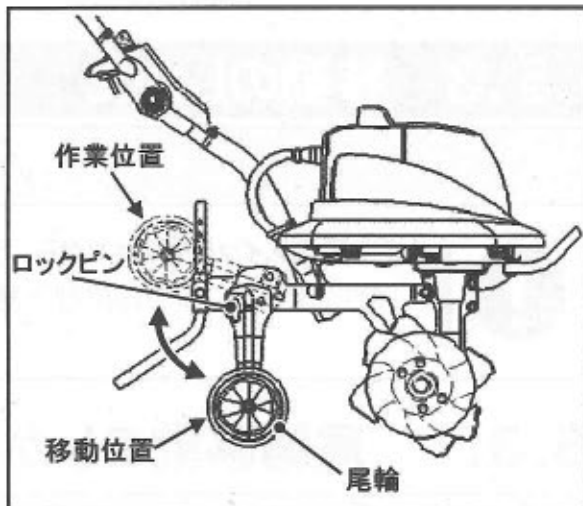


5.2.3 尾輪の調節のしかた

尾輪は移動するときを使用します。ロックピンを引き、尾輪の位置を変更してください。尾輪の位置は移動位置と作業位置の2箇所止める穴があります。ロックピンが確実にピン穴に挿入されていることを確認してください。

補足

- ロックピンを引くときは、機体バランスをくずさないように、抵抗棒を地面につけ安定した状態で調節を行ってください。



5. 運転・作業のしかた

⚠ 注意

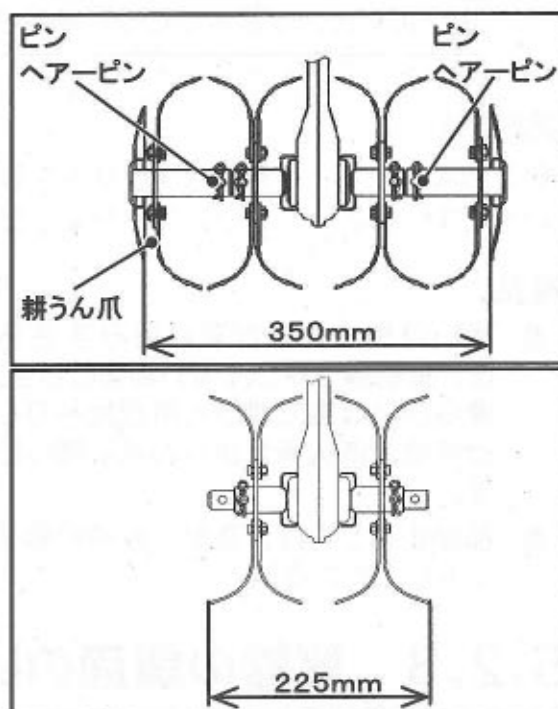


耕うん爪を調節するときは、必ず手袋を使用してください。

※ 守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

5.2.4 耕うん幅の調節のしかた

作業する幅に合わせて、耕うん爪を分割することができます。耕うん爪の組み立て状態と耕うん幅の関係は、右図のようになります。外側ヘアーピンを外しピンを抜くことにより外側の耕うん爪を外すことができます。作業する幅に合わせて、耕うん幅を調節してください。



5.3 移動のしかた

⚠ 警告



必ず主電源スイッチを切ってから、行ってください。

※ 守らないと、耕うん爪が不意に回転し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

5.3.1 尾輪移動のしかた

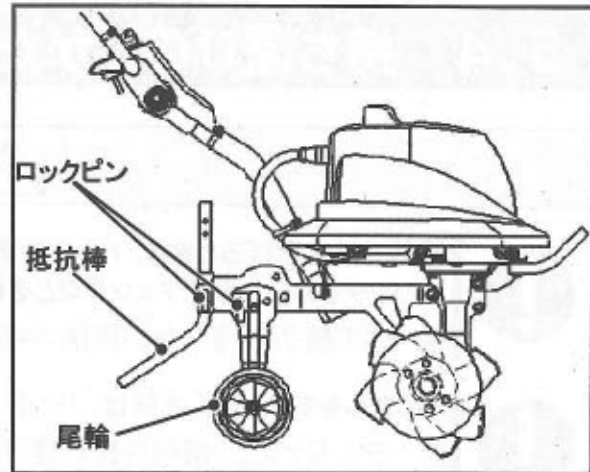
⚠ 注意



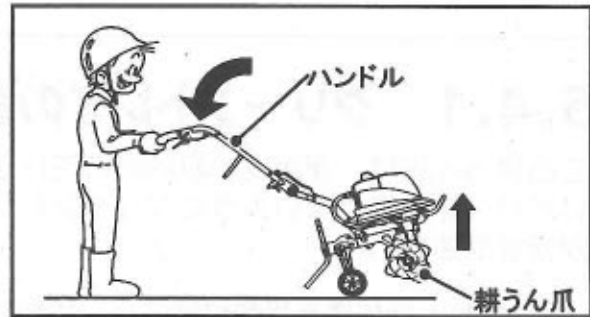
尾輪を使用するときは、地面の傾斜で機械が傾き、尾輪が浮き上がらないようにしてください。

※ 守らないと、機械が転倒し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- 1** 尾輪を移動の位置にロックピンで固定し、抵抗棒を移動用の位置に合わせてロックピンで固定します。
2箇所のロックピンが確実に穴に挿入されていることを確認してください。

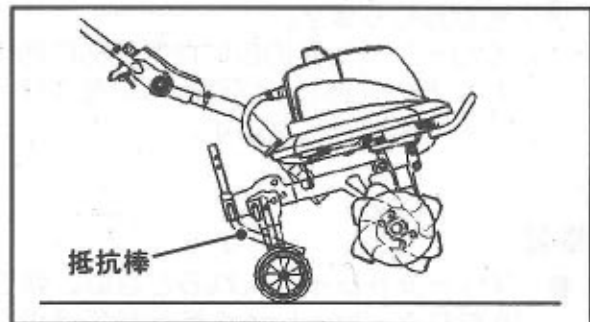


- 2** ハンドルを押し下げ、耕うん爪を浮かせて移動してください。



補足

- 抵抗棒が気になるようでしたら、移動時には抵抗棒を反対向きにつけていただいても構いません。



5. 運転・作業のしかた

5.4 持ち運びのしかた

⚠ 注意



機体を持ち上げるときは、ハンドルを折りたたみキャリーハンドルを持って運んでください。絶対にバッテリーの取っ手やフェンダなどを持たないでください。

※ 他の箇所を持つと、破損や変形をするおそれがあります。



ハンドルを折りたたんだ後は、ハンドル固定ノブを確実にロックしたことを確認してください。

※ 守らないと、機械を持ち運び中落下し、傷害事故となるおそれがあります。

5.4.1 クリーントレイの装着

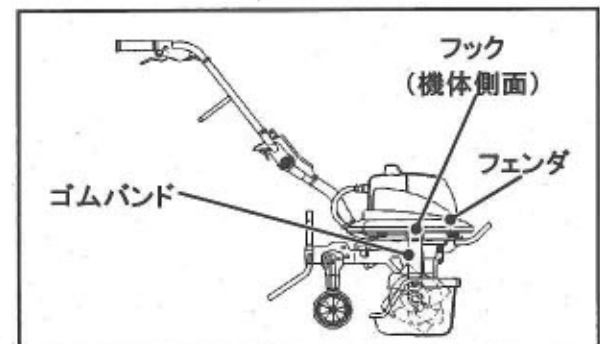
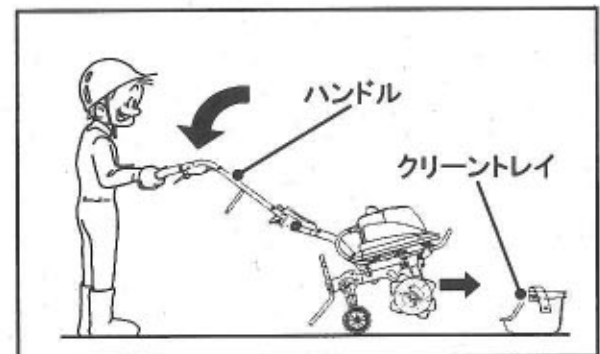
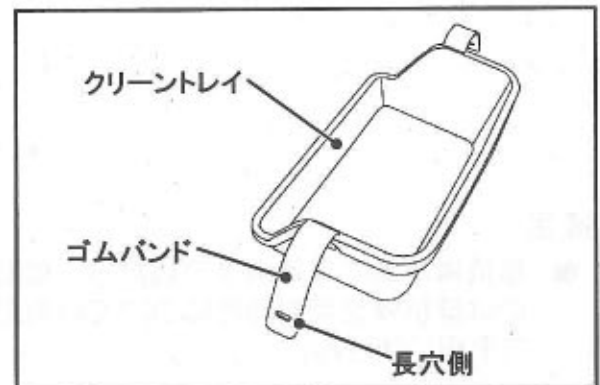
この耕うん機は、運搬時や収納時に汚れを防いだり、床を傷めないようにクリーントレイが装着できます。

- 1 尾輪と抵抗棒を移動位置にし、移動できる状態にします。
クリーントレイの広い口を手前に向け、ハンドルを押し下げ耕うん爪をクリーントレイの中へ入れます。

補足

- クリーントレイへ入れるときは、耕うん爪をクリーントレイの奥へ当てるようにすると入れやすくなります。

- 2 クリーントレイに入れた後は、左右のゴムバンドで固定してください。ゴムバンドの長穴部は、フェンダ下部の本体フレームのフックへ引っかけます。



5.4.2 ハンドルの折りたたみかた

この耕うん機は、運搬や収納をしやすいように、ハンドルが折りたためるようになっています。

- 1 片手でハンドルを持ち、ハンドル固定ノブをハンドルが動かせる程度にゆるめま

補足

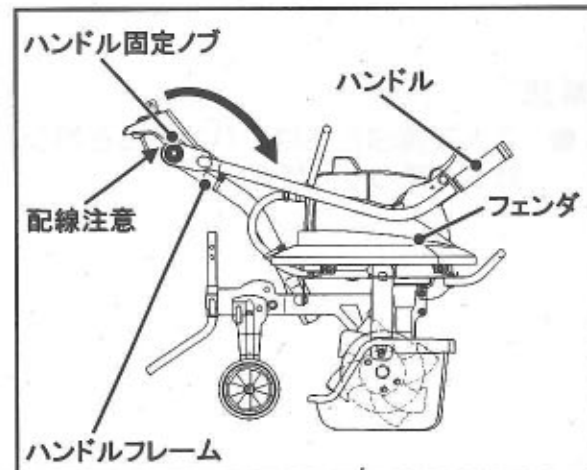
- ハンドルが急に下がることがあるので注意してください。



- 2 ハンドルを前方へ折りたたみ、バッテリーまたはフェンダに当たらない程度まで倒し、ハンドル固定ノブを確実に閉めてください。

補足

- ハンドルとハンドルフレームの間で電気配線を挟まないよう注意してください。
- ハンドルの位置決め用凹凸部がかみ合っていることを確認しハンドル固定ノブを締めてください。
- ハンドルがフェンダに当たらない位置で固定してください。



- 3 元に戻すときは、逆の手順で行ってください。

5. 運転・作業のしかた

5.4.3 持ち運びのしかた

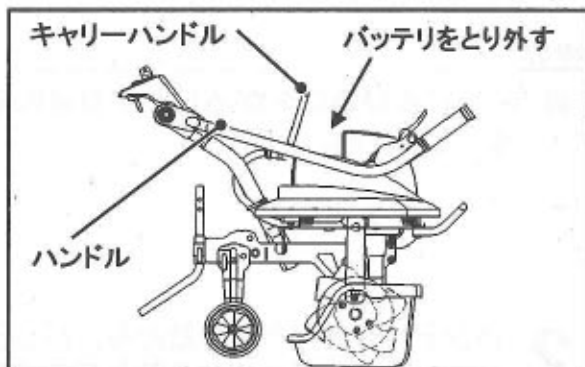
⚠ 危険



トラックや自動車へ積み込むときは、必ずバッテリーを取り外し、バッテリーは日の当たらない涼しいところへ置いて運んでください。また、長時間車内に放置しないでください。

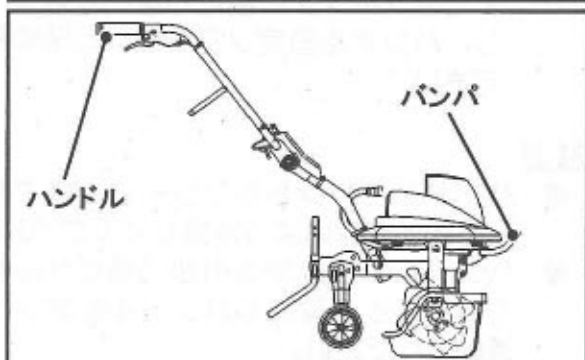
※ 守らないと、発火・破裂し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

自動車への積み・降ろし等で、機体を持ち上げるときは、ハンドルを折りたたみ、キャリアハンドルを持ってください。



補足

- 2人で運ぶときは、ハンドルとバンパを持って運んでください。



5.4.4 ロープのかけかた

⚠ 注意



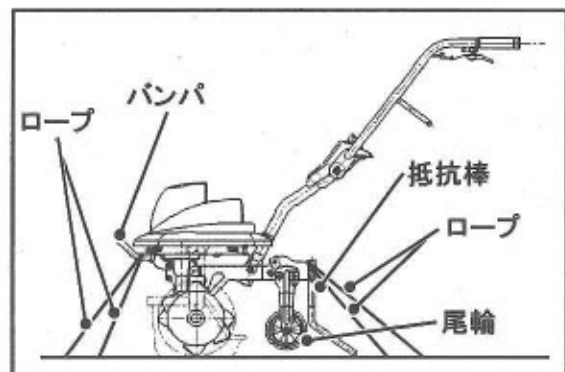
トラックや自動車へ積み込むときのロープ掛けは、本機が変形しない程度にロープで固定してください。

※ 守らないと、本機が破損するおそれがあります。

自動車（トラック）でのロープがけは、機械が故障しないように右図の箇所で固定してください。

補足

- バンパと抵抗棒にロープを通し、自動車（トラック）に固定してください。
- 尾輪に力がかからないように抵抗棒を自動車（トラック）の床面に着けて固定してください。



6. 点検整備

次ページの一覧表に従い、定期的に点検整備を行ってください。

警告



点検整備をするときは、(1)耕うん機を平たんな広い場所に置き、(2)主電源スイッチを切り、(3)モータ・ミッションケースが十分冷えてから、安全を確認して行ってください。

※ 安全を確認せずに点検整備すると、傷害事故を引き起こすことがあります。



洗車時や機械を使用しない場合は、必ずバッテリーを外しキャップをしてください。

※ 故障・傷害事故のおそれがあります。



点検整備時はバッテリーの端子部を針金などの金属で直接接触・接続しないでください。

※ 故障・感電のおそれがあります。

注意



洗車をするときは、電気部品(バッテリー・キースイッチ・運転スイッチ・主電源スイッチ・モニタ・バッテリーケーブル・モータ)、警告ラベル貼付箇所には水をかけないでください。

※ 水をかけると、故障や、警告ラベルのはがれの原因となります。

■新車初期点検

作業時間が10時間以上または、最初のシーズンを終了したときは、必ず新車時の初期点検整備を実施してください。

新車時の初期点検整備は、耕うん機の耐久性にとって大事な項目ですのでお買いあげ先での点検、整備をおすすめします。

補足

- 点検整備項目の中には、消耗品の扱いとなっている部品も含まれています。交換が必要な部品は純正部品を注文してください。
- 専門的な技術や特殊な工具を必要とするときは、「お買いあげ先」へ問い合わせください。
- 抜き取った油脂類、不要になったバッテリー等は、専門の処理業者、または「お買い上げ先」へ依頼して処理してください。廃油やバッテリーを捨てたり放置すると、法令違反となり処罰されます。

6.1 毎日の手入れ

- (1) 機体に付いた汚れ(土、草、ほこり等)をふき落としてください。
- (2) 耕うん爪・抵抗棒以外は水洗いをしないでください。
電気部品に水がかかると故障の原因になります。

6.2 長期間使用しない場合の手入れ

- (1) 長期(約30日間以上)の格納の頁をよくお読みください。(P. 37ページ)

6. 点検整備

6.3 定期点検・点検個所一覧表

○：点検、補充、調整 ●：交換 △：清掃、洗浄 ★：お買い上げ先での交換・点検をおすすめします。

点検項目		点検頻度		作業前	新車初期点検	新車初期点検後2年毎	備考	参照ページ
		点検	調整					
本 体	運転スイッチの作動確認	点検		○	★	★		22
	各部ボルト・ナットのゆるみ	点検		○	★	★		-
	各ピン類の脱落確認	点検		○	★	★		27 28・36
	油漏れの確認	点検		○	★	★	ミッションケース	35
	警告灯の点灯確認	点検		○	★	★	運転ランプ 電池ランプ	22
	キースイッチの作動確認	点検		○	★	★		22
	主電源スイッチの作動確認	点検		○	★	★		22
	ミッションオイル点検	点検				★	★	35
	各ラベルの損傷はがれ	点検		○	★	★		13・14
充 電 器	電源コードの損傷	点検		○	★	★		9
	表示ランプの点灯	点検		○	★	★		21
バ ッ テ リ	傷・割れ・変形の確認	点検		○	★	★		7
	各ラベルの損傷はがれ	点検		○	★	★		13

6.4 バッテリーの交換

■交換時期

バッテリーは交換が必要です（有料）。バッテリーの交換時期は使用状況や充電の仕方などによって異なります。1回の充電あたりの使用時間が著しく短くなり、回復の兆しがなければバッテリーの交換時期です。

交換時期の目安として、最初の充電から3年です。

■補足

- 上記の交換時期の目安は保証値ではありません。
- バッテリーの交換時期は保管状態、充電環境温度、使用状態、気温などで異なります。悪い条件で使われた場合は、目安より交換時期が早くなる場合があります。

■バッテリーをより消耗させる環境

バッテリーは以下の条件化の場合、劣化が早まります。

- (1) 長期間使用しないで放置している場合
詳しくは、「7.2 長期の格納」をお読みください。（P.37ページ）
- (2) 炎天下の車内や冬場の暖房器具の近く、直射日光の当たる場所等、高温下で保管している場合
- (3) 0℃以下もしくは35℃以上の気象条件下で使用している場合
- (4) 満充電のバッテリーを何回も充電している（過充電している）場合

■交換

バッテリーの交換の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■補足

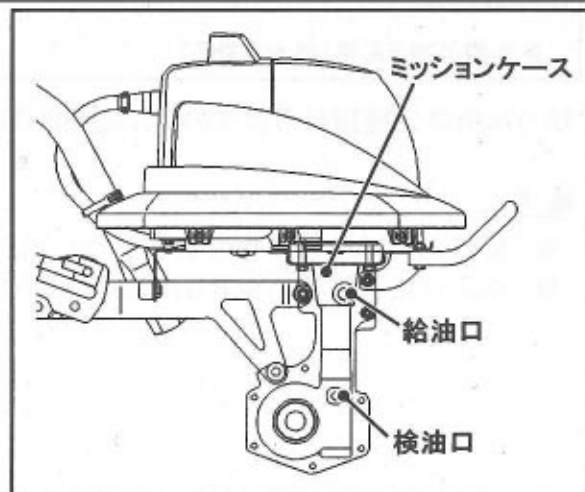
- 本機に使用している充電式リチウムイオンバッテリーは、一般のゴミとして捨てないでください。

6.5 ミッションオイルの交換

給油口栓を開けて、ハイポイドギヤーオイル #80を検油口からあふれ出る寸前まで入れてください。

■補足

- 出荷時はオイル注入済です。
- 油量は0.12Lです。
- 給油が完了したら、給油口・検油口をしっかり閉めてください。
- 各油口栓は以下の工具を使用してください。
給油口栓：六角レンチ（対辺6mm）
検油口栓：六角レンチ（対辺5mm）



6. 点検整備

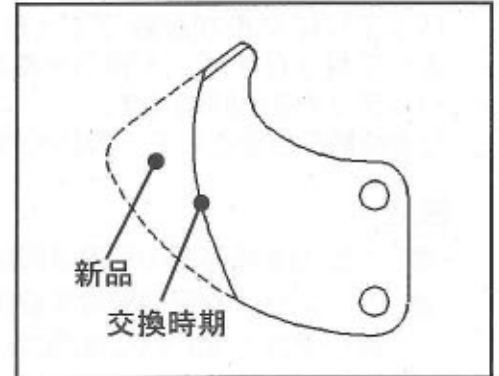
6.6 耕うん爪の点検・交換

■交換時期

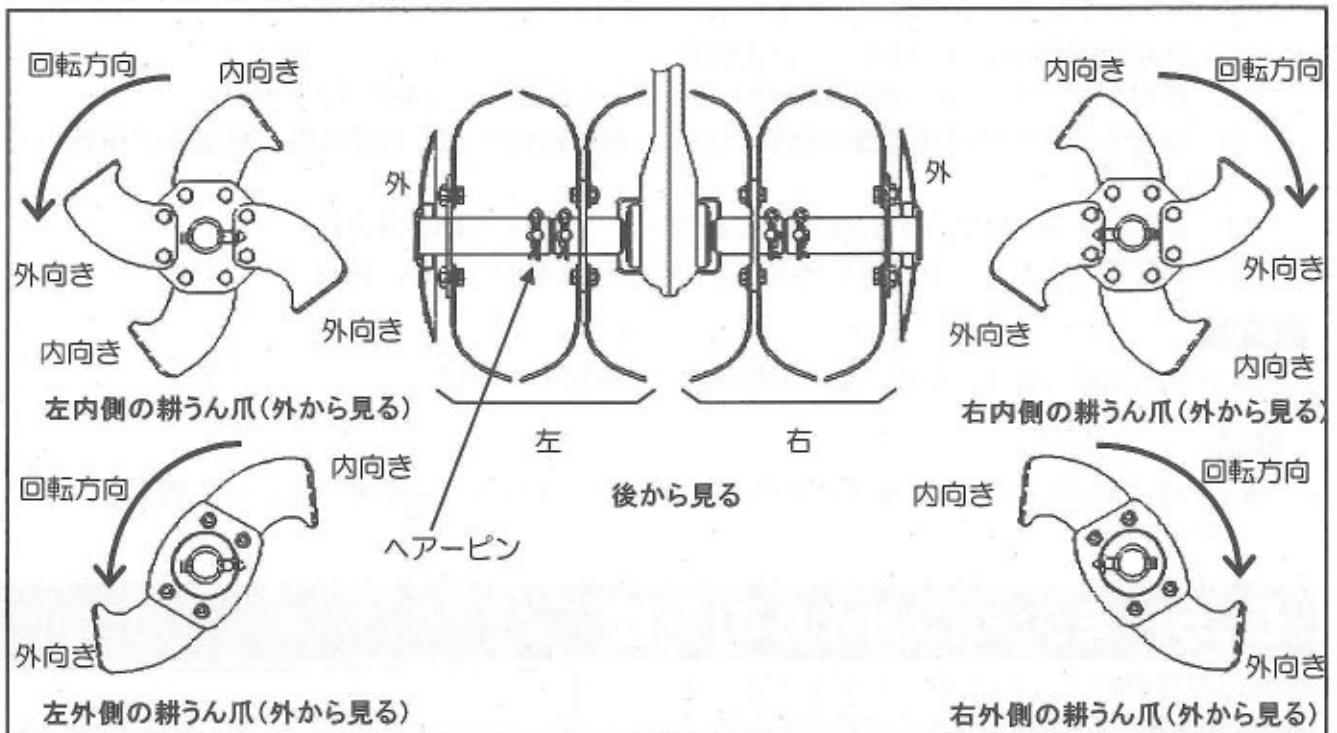
耕うん爪は先端が摩耗し、十分に耕うんできなくなりましたら交換時期です。

補足

- 爪の摩耗が約半分を超えたら交換時期です。効率の良い作業をしていただく為に早めにお取替えください。
- 爪の交換は純正の耕うん爪を使用してください。



■耕うん爪の組み方



耕うん爪は2種類ありますので、向きを間違えないよう、上図のとおり組んでください。

補足

- 耕うん爪は左右対称になるように組んでください。
- ヘアースピンは抜け防止のため、上図の方向に取り付けてください。

7. 格納時の手入れ

警告



洗車および機械を使用しない場合は、必ずバッテリーを外しキャップをしてください。

※ 故障・傷害を引き起こす可能性があります。

注意



洗車をするときは、電気部品(バッテリー・キースイッチ・運転スイッチ・主電源スイッチ・モニタ・バッテリーケーブル・モータ)、警告ラベル貼付箇所には水をかけないでください。

※ 水をかけると、故障の原因となったり、警告ラベルのはがれを起こしたりします。

7.1 日常の格納

日常の格納および短期間の格納をする前に、下記の作業を行ってください。

- (1) 耕うん機はきれいに清掃してください。
- (2) 安定した水平な場所に格納してください。
- (3) 格納はできる限り屋内にしてください。(屋根があり、雨の当たらない場所)

7.2 長期の格納

耕うん機を長い間(約30日以上)使用しない場合は、格納する前に下記の作業を行ってください。

- (1) 耕うん機はきれいに清掃してください。
- (2) 不具合箇所は整備してください。
- (3) バッテリーは機体から取り外し、室内の涼しく湿度の少ない場所で保管してください。
- (4) バッテリーは必ず満充電にしてから保管してください。
- (5) 長い間使用しない場合でも、1年に1回は充電してください。
- (6) 各部のボルト、ナットのゆるみを点検し、ゆるんでいれば締めてください。
- (7) 格納場所は、周囲に燃えやすいものがなく、雨がかからず湿度の少ない場所を選定しシートをかけるようにしてください。

7.3 長期格納後の使用

長期格納後の再使用時は、特に次の内容に注意してください。

- (1) 作業前点検を確実に行ってください。(P.18ページ)
- (2) 必ずバッテリーを充電してから使用してください。

8. 不調時の処置

8.1 不調時の処置

現象	原因	処置	参照ページ
キースイッチを「運転（ON）」にしても運転ランプ・電池ランプ共に点灯しない	● バッテリケーブルは正しく接続されていますか	バッテリーケーブルを接続し直してください	19
	● バッテリは充電されていますか	バッテリーを充電してください	20
	● キースイッチまたは警告灯の故障	「お買い上げ先」で修理してください	—
キースイッチを「運転（ON）」にしても運転ランプが赤色に点灯していて耕うん爪が回らない	● 主電源スイッチは「入」になっていますか	主電源スイッチを「入」にしてください それでも回らない場合は「お買い上げ先」にご相談ください	16
運転スイッチを握っても耕うん爪が回らない。 (運転ランプと電池ランプは緑色に点灯している)	● 安全始動ボタンを押したまま運転スイッチを握っていますか	安全始動ボタンを押したまま運転スイッチを握ってください	23
	● 主電源スイッチの故障	「お買い上げ先」で修理してください	—
	● 運転スイッチの故障	「お買い上げ先」で修理してください	—
運転中に突然停止した (運転ランプが赤色に点灯している〈自動停止〉)	● 長時間連続で運転していませんか	しばらくおいてモータを冷ましてから始動してください	25
	● 耕うん深さが深すぎませんか	耕うん深さを浅くしてください	23
	● 草等の異物が爪に巻き付いていませんか	主電源スイッチが「切」位置にあることを確認してください。異物を取り除いてください。点検後、主電源スイッチを「入」にしてください。	25
運転中に突然停止した (電池ランプが赤色に点灯している〈要充電〉)	● バッテリの残量がなくなっています	バッテリーを充電してください	20
運転中に突然停止した (運転ランプは緑色に点灯している〈自動停止〉)	● 石等の異物が爪にかみ込んでいませんか(バッテリーの保護回路が作動しました)	主電源スイッチが「切」位置にあることを確認してください。石や異物を取り除いてください。点検後、主電源スイッチを「入」にしてください。	25
耕うん爪が回らない	● 電池ランプが赤色に点灯していませんか	バッテリーを充電してください	25
	● 運転ランプが赤色に点灯していませんか	主電源スイッチが「切」位置にあることを確認してください。異物を取り除いてください。点検後、主電源スイッチを「入」にしてください。	25
		耕うん深さを浅くしてください	25

現象	原因	処置	参照ページ
耕うん爪が回らない	● 耕うん爪に石など異物がかみこんでいませんか	主電源スイッチを「切」にして異物を取り除いてください	25
	● 耕うん深さが深すぎませんか	耕うん深さを浅くしてください	25
	● モータ本体の故障	「お買い上げ先」で修理してください	-
耕うん爪が停止しない	● 運転スイッチが故障していませんか	主電源スイッチを「切」にし「お買い上げ先」で修理してください	23
充電器のランプがつかない	● 正しく接続されていますか	正しく接続し直してください	20
バッテリーに充電器をつないで充電器の電源スイッチを「- (入)」にしても充電ランプが橙色にならず赤色のままになる	● バッテリーがすでに満充電のため、過充電防止の保護回路が働いた可能性があります	一度バッテリーを使用してから再度充電をしてください それでも症状が治らない場合は「お買い上げ先」にご相談ください	-
充電器の充電ランプが橙色に点滅する	● 充電不具合によるタイマーの作動	「お買い上げ先」にご相談ください	-
充電できない	● カプラ、電源プラグは正しく接続されていますか	正しく接続し直してください	20
	● バッテリーの寿命がきていませんか	新品のバッテリーに交換してください	35

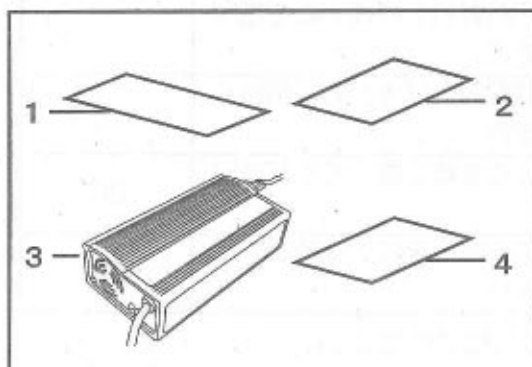
※不調時はむやみに分解しないで、はやめにお買い上げ先にご相談ください。

9. 付表

9.1 推奨潤滑油一覧表

区分	メーカー名	商品名・規格	納車時充填油
ミッションオイル	・井関農機	中セキ・ハイポイド ギヤードイル(#80) 4L缶：品番 7019-005-400-00	○
	・他有名メーカー	#80相当品	
一般グリース	・協同油脂	ユニルフNO2	○
	・他有名メーカー	リチュウム系一般グリース	

9.2 標準付属品



番号	品名	個数	備考
1	取扱説明書	1	
2	保証書	1	
3	充電器・電源コード	1	
4	取扱説明書(要約版)	1	

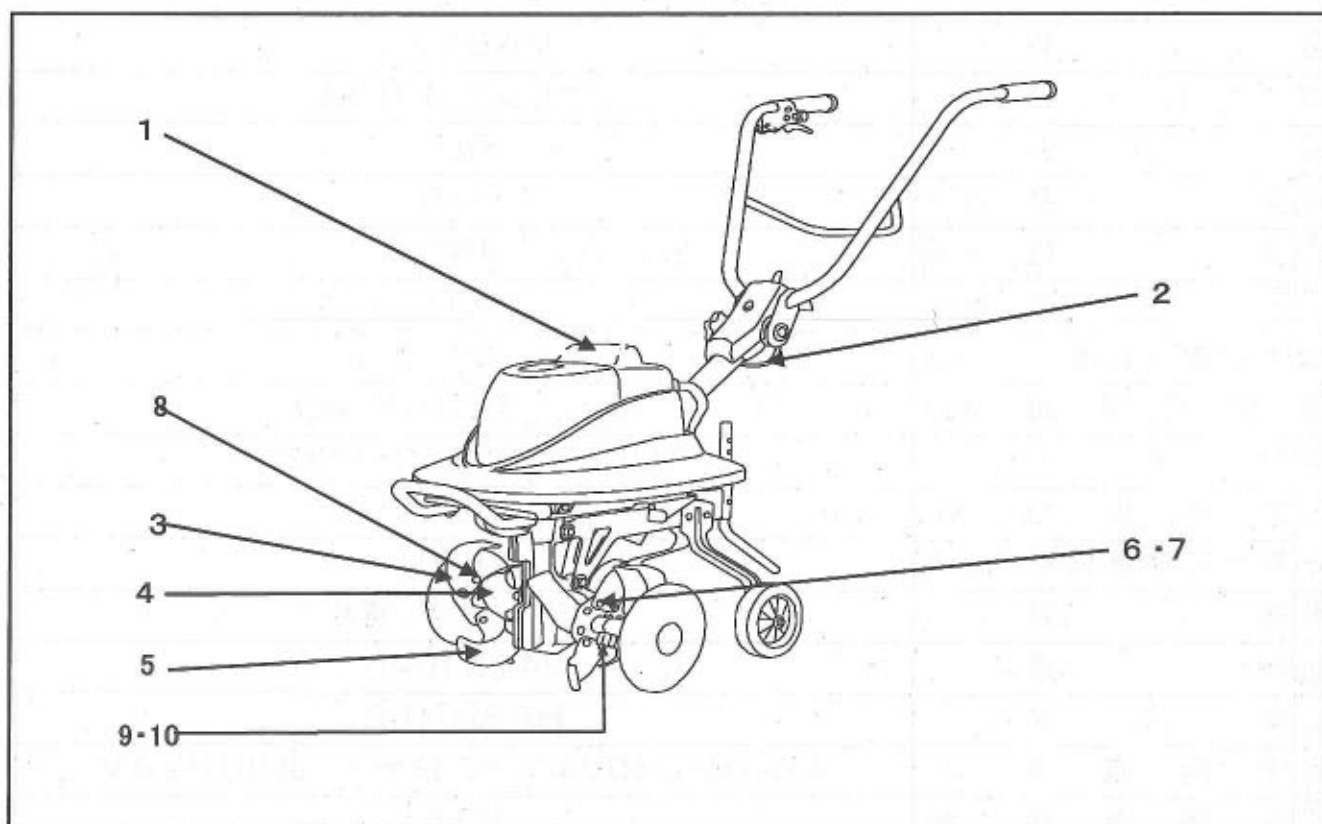
9.3 注文部品一覧表

番号	品名	品番	適用区分	備考
1	バッテリー SET	1146-621-270-00	BD	
2	チャージャ SET	1146-621-280-00	BD	バッテリー用充電器

9.4 主要諸元表

名 称	VAB235	
型 式 名	アグリップ K034	
区 分	BD	
機体寸法	全 長 (mm)	1150
	全 幅 (mm)	460
	全 高 (mm)	920
機体質量 (装備)	(kg)	21
運 搬 時 重 量 (kg)	18 (バッテリー取り外し時)	
モーター	型 式 名	DC82M244630KR000
	定 格 出 力 (W)	300
	無 負 荷 最 高 回 転 (rpm)	4,600
電 池	種 類	リチウムイオン電池
	容 量	24VX10Ah
充 電 器	型 式 名	HP8204L2
	使 用 電 源	入力100~240VAC 50/60Hz 出力DC24V
	充 電 時 間 (h)	約3.5
耕 っ ぐ 部	爪 軸	分割型
	爪	軽量ナタ刃
	爪 軸 ロ ー タ 径 (mm)	220
	耕 っ ぐ 幅 (mm)	350 (分割時225)
	変 速 段 数	前進1
	耕 っ ぐ 軸 回 転 速 度 (rpm)	正転105
	車軸の形状・寸法 (mm)	丸軸20・長さ90
運 転 操 作 方 式	デッドマンスイッチ	
ハ ン ド ル 調 節	菊座多段 (ノブ)	
ハ ン ド ル 折 り た た み	可能	

9.5 主な消耗部品一覧表



番号	品名	品番	個数	備考
1	バッテリー	SET 1146-621-270-00	1	
2	ハーネス(メイン)	ASSY 1146-621-210-00	1	
3	ナタバ	SET 1131-717-200-00	1	(12本セット)
4	ナタバ(C318L)	1131-717-201-00	6	
5	ナタバ(C318R)	1131-717-202-00	6	
6	コガタボルト(M6X16 7T)	V210-360-601-60	16	(ナタバ取り付け用)
7	サラバネツキナット(M6)	V361-260-006-00	16	(ナタバ取り付け用)
8	コガタボルト(M6X16 4T)	V210-260-601-60	8	(ナタバ取り付け用)
9	ピン(O8X44)	1120-716-001-00	4	
10	ホイールヨウヘアーピン	1305-241-001-00	4	

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使ってください。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。

**取扱い方法、手入れの仕方、故障修理などお困りのときは、
お買いあげ先へご相談ください。**

●ここにメモされておくと後々便利とおもいますので、ぜひ記入しておいてください。

購入先名	担当者名	電話 () -
御購入日 平成 年 月 日	型式	区分
車体番号(本機番号)	機関番号	同時購入作業機

 **井関農機株式会社**
 **株式会社 アグリップ**

— お客様ご相談窓口 —

関東事業所 〒365-0028 埼玉県鴻巣市鴻巣1202
TEL (048) 543-3620 FAX (048) 543-5462
関西事業所 〒651-2113 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬842-12
TEL (078) 977-1170 FAX (078) 977-1172
フリーダイヤル 0120-007-660 受付時間/午前10時～午後3時
(ただし、土曜・日曜・祝日など休日は受付できません)

本社：〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-3-14 TEL (03) 3803-7951 FAX (03) 3806-2386
営業所所在地：北海道岩見沢市・宮城県岩沼市・埼玉県鴻巣市・滋賀県近江八幡市・兵庫県神戸市・
広島県東広島・熊本県上益城郡

 詳しくは   http://www.iseki.co.jp/iseki_group/agrip/